

## 第19期第3四半期業績のご報告 (平成27年1月1日～平成27年3月31日)

平成27年 6月 吉日  
日本システムバンク株式会社  
代表取締役社長 野坂 信嘉

当第三四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善から設備投資も穏やかな増加基調にあり、個人消費も、雇用・所得環境の改善の元、底固く推移し、穏やかな回復基調を辿っております。

駐車場業界におきましては、道路交通量の回復に伴い、駐車場需要も回復傾向にありました。

このような環境のもと、CPシステム運営事業では、駐車場の新規開発、既存駐車場の収益性の向上に努めて参りました。その結果、CPシステム運営事業では、売上高 675,807 千円(前年同期比 106%)となりました。

CPシステム販売事業では、外部環境の影響による顧客既存駐車場の収益悪化により、開発計画が遅れる結果となりました。メンテナンス売上においても、開発計画の遅れの影響を受ける結果となりました。その結果、売上高 642,513 千円(前年同期比 62%)となりました。

プロパティマネジメント事業は、収益物件の一部売却による収入減により、売上高 58,711 千円(前年同期比 90%)となりました。

以上の結果、当第三四半期における売上高は 1,379,346 千円(前年同期比 102%)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

| 事業区別          | 金額           | 前年同期比  |
|---------------|--------------|--------|
| CPシステム運営事業    | 675,807 千円   | 106%   |
| CPシステム販売管理事業  | 642,513 千円   | 99%*1  |
| プロパティマネジメント事業 | 58,711 千円    | 90%    |
| その他           | 2,314 千円     | 207%   |
| 計             | 1,379,346 千円 | 102%*2 |

\*1 前年の駐車場土地販売による売上を除いて算出しております。

\*2 \*1 及び前年のマンション事業を除いて算出しております。